

# 校長室通信



南小国町立南小国中学校

令和元年 10月25日(金)No23

文責 狭間卓史



## こころ晴ればれ

10月6日(日)、南小国町社会協議会主催の町内美化作業ボランティアが行われました。本校からも総勢25人(一年生11人、二年生7人、三年生7人)が参加しました。

いくつかの活動班に分かれて町内各所での除草・清掃作業でしたが、どの生徒も意欲的に取り組んでくれました。私も何カ所か様子を見に回らせてもらいましたが、



【笑顔一杯】

【地域の皆さん方と】  
その中で、休憩時間にもかかわらず作業を続ける本校生徒の姿を見かけました。私からも休憩を勧めたところ、「ありがとうございます。でも、めっちゃ楽しいから続けていいですか」との言葉が笑顔と共に返ってきました。まぶしいくらいいい子たちです。

また、昨年度に引き続き参加した生徒も大勢いました。卓球部を率いて参加してくれた顧問の杉本教諭いわく、「昨年参加した生徒がとても楽しかったらしく今年も参加したいと言ったんです」とのこと。

魅力一杯の子どもらが育ちつつあります。秋晴れに恵まれたこの日は、こころ晴ればれの日となりました。

## 気持ちも新たに



【後期スタート】

10月11日(金)が前期終業式、そして16日(水)が後期始業式でした。前期の登校日は三年生は103日、二年生は101日、一年生は100日でしたが、過ぎてしまえば本当にあっという間の時間でした。お子さんが各ご家庭に持ち帰った通知表はいかがだったでしょうか。各学年部とも担任を中心に連日遅くまでかかって仕上げた通知表でした。私や教頭は事前にチェックさせてもらうのですが、担任が日頃どのようにその生徒と関わっているのかが垣間見えてワクワクする時間でもありました。

また、今年からは「南中ノート」や「読書冊数(学校図書を借りた冊数)」も記載することにしましたが、教科の成績や生活面以外でも頑張っている生徒の様子を各ご家庭にお伝えしたいという職員の思いがそこには込められていました。

教科の学習についても定着を図り、わかる喜びを実感させる取組はこれからも重ねていきますが、点数だけでは測りきれない生徒の主体的な学びの姿勢を各ご家庭でもぜひ話題にしてくださることをあらためてお願いいたします。

## つなぐ

8月の全日本少年春季大会県大会阿蘇郡市予選で決勝に進出し(決勝戦は雨天順延のままですが)、県大会への出場権を得た野球部が10月5日・12日に人吉・球磨で開催された県大会に出場しました。

遠方の地での開催だけに前日から移動してのことで、しかも二週にわたっての大会参加でした。一回戦を見事勝ち上がり、二回戦は残念ながら敗れてしまいましたが、次につながる課題を見つけた終わり方だったとのこと。嬉しさも悔しさも全てを次につなぐことが出来れば、必ず今よりも強くなれます。頑張れ小国郷野球部!!



【中央は前監督の切通先生】

